

# 林 務 課

令 和 5 年 度

# 林 務 課

## 1 概 況

森林は、諏訪湖を取り囲む山地と、八ヶ岳・霧ヶ峰山麓及び釜無山・入笠山山麓等に分布し、カラマツ、アカマツが主要樹種となっている。

管内の森林面積は、50,700ha、森林率 71%（県全体 78%）で、うち民有林は、41,695ha である。なお、主要樹種であるカラマツは、18,325ha で民有林立木地面積の 46%を占めている。

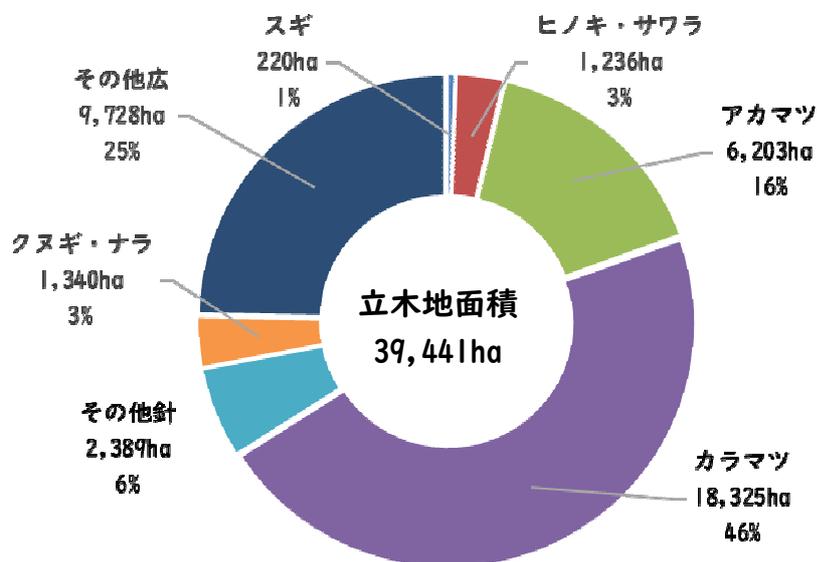
### (1) 市町村別森林面積等

(令和4年9月現在)

市町村名	項目	総面積 ha	森林面積 ha	森林率 %	民 有 林	
					面積 ha	蓄積 千m <sup>3</sup>
岡 谷 市		8,510	5,696	67	5,674	1,291
諏 訪 市		10,917	7,255	66	7,255	1,465
茅 野 市		26,659	20,019	75	15,049	2,775
下 諏 訪 町		6,687	5,650	84	4,019	831
富 士 見 町		14,476	10,135	70	7,753	1,717
原 村		4,326	1,945	45	1,945	354
計		71,575	50,700	71	41,695	8,433
県 全 体		1,356,160	1,056,902	78	687,107	140,059

### (2) 樹種別森林面積（民有林）

(令和4年9月現在)



## 2 健全な森林づくり

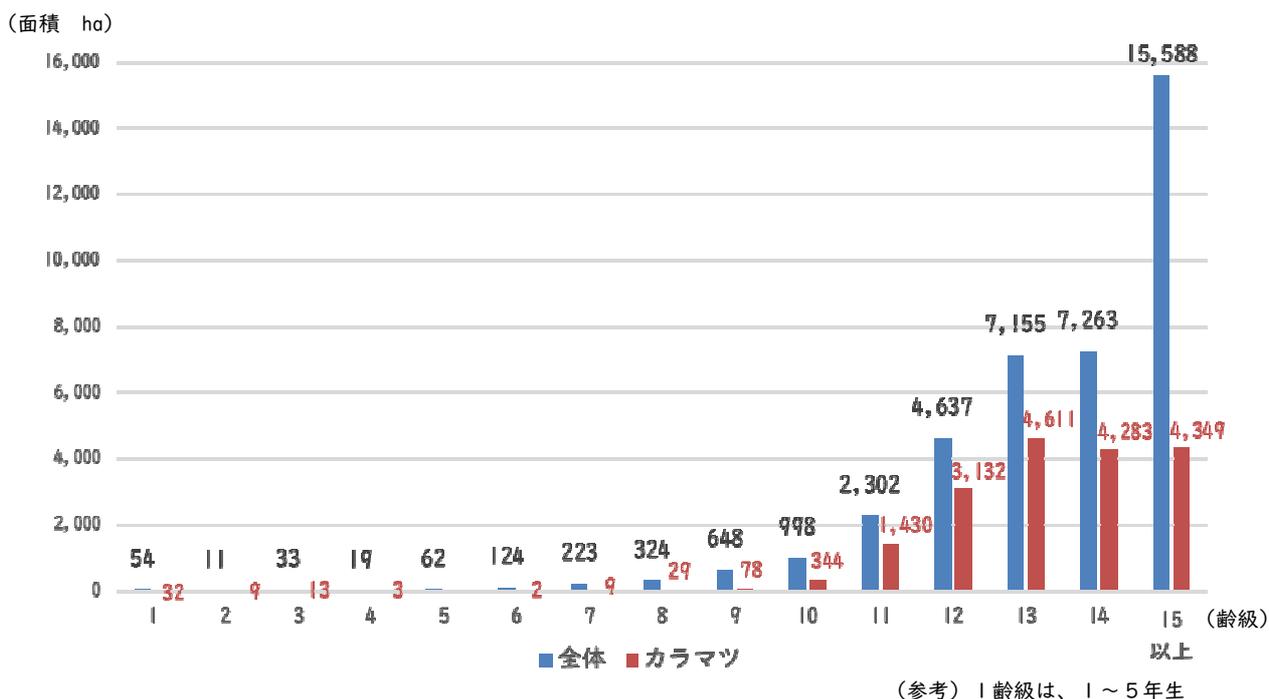
管内の民有林は、戦後植林された森林が成熟しつつあり、計画的な間伐と搬出による材の利活用を推進している。

主伐・再造林の推進も徐々に始まりつつある。

平成 20 年度からは、「長野県森林づくり県民税」を活用した事業を加え、健全な森林づくりに集中的に取り組んでいる。

### (1) 民有林の齢級別面積

(令和 4 年 9 月現在)



### (2) 間伐実績と目標

(単位: ha)

区分	5 か 年 の 間 伐 実 績						R 4 年度 目 標
	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	計	
管 内	747	915	823	701	652	3,838	600
県全体	11,314	10,992	9,652	8,821	7,130	47,909	

### (3) 林業労働力

林業従事者数は 122 人で、森林組合及び素材・造林業（会社）が全体の 70%を占めている。  
(単位：者、人)

区 分	森林組合	素材・造林業(会社)	個人林業 営 業 体	NPO法人	建設業 (会社)	合 計
事業体数	1	11	1	1	5	19
比 率	5 %	58 %	5 %	5 %	27 %	100 %
林業従事者数	14	71	4	14	19	122
比 率	12 %	58 %	3 %	12 %	15 %	100 %

注) 令和3年度林業事業体調査による。

## 3 森林づくりのための基盤整備

### (1) 保安林の面積

(令和4年9月現在)

種別	水源かん養	土砂流出防備	その他	計
			(土崩・防風・水害・干害・保健)	
面積	5,444ha	4,443ha	70ha	9,957ha
比率	54.7%	44.6%	0.7%	100%
民有林面積		41,695ha	保安林率	23.9%

注)長野県民有林の現況(令和4年)による。

### (2) 治山事業

保安林の機能を高度に発揮させるため、計画的な実施に努めている。(単位：円)

事業種別	令和4年度 実績		令和5年度 計画	
	箇所数	事業費	箇所数	事業費
流域保全総合治山	7	92,843,000	(3) 8	(96,302,000) 170,000,000
復旧治山	3	118,074,000	1	33,000,000
緊急総合治山	1	37,002,000	3	78,700,000
緊急機能強化・老朽化対策			1	22,000,000
水源森林再生対策	(2)	(58,332,000)	(1)	(40,305,000)
予防治山			1	41,800,000
林地荒廃防止			1	86,900,000
災害関連緊急治山	(7)	(178,277,000)	(3)	(226,160,000)
県単治山	(7)	(45,518,000)	(3)	(30,360,000)
	2	1,144,000	4	39,000,000
計	(16)	(282,127,000)	(10)	(393,127,000)
	13	249,063,000	19	471,400,000

注1) ( )書きは前年度からの繰越額で外数

注2) 令和5年度計画に令和4年度補正、令和4年度補正ゼロ国債、令和5年度当初ゼロ国債を含む

注3) 令和5年度計画の水源森林再生対策事業(繰越)、災害関連緊急治山事業(繰越)は、令和3年度事故繰越分

### (3) 林道事業

林業経営の基盤である林道は、令和16年度末で林道密度14.3m/haを目標に整備を進めており、令和3年度末では6.1m/ha、進捗率は約42.7%となっている。

#### 林道網整備長期計画（平成7～令和16年度）

全体計画 林内道路		内 訳 (計画)				令和3年度末林道現況		
		林内公道		林 道				
延長	密度	延長	密度	延長	密度	延長	密度	進捗率
m	m/ha	m	m/ha	m	m/ha	m	m/ha	%
906,085	21.7	308,653	7.4	597,432	14.3	255,093	6.1	42.7

(単位：円)

事業種別			令和4年度 実績		令和5年度 計画	
			箇所数	補助対象額	箇所数	補助対象額
補助	林道	改良・ 保全事業	1	7,920,000	1	2,948,000
	林道施設災害	林道復旧	17	223,344,000	(2)	(212,080,000)
計			18	231,264,000	(2)	(212,080,000)
					1	2,948,000

注)・上段( )書きは前年度からの繰越額で外数

・令和5年度は橋梁点検・診断の委託

・令和5年度林道施設災害は、令和4年度割当の横河山線(2箇所)が繰越

#### 4 野生鳥獣被害対策

特定鳥獣管理計画等にもとづき、捕獲及び捕獲個体処理対策、集落周辺の環境整備等を実施し、野生鳥獣による農林業被害の軽減を図っている。

##### (1) 野生鳥獣による被害額及び捕獲数（狩猟を含む） (単位：千円、頭・羽)

区分		年度					
		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
カモシカ	被害額	3,153	3,656	1,637	880	934	1,060
	捕獲数	8	3	1	0	0	0
ニホンジカ	被害額	43,572	36,808	34,391	41,241	41,004	35,103
	捕獲数	3,628	3,533	3,431	3,543	3,788	4,132
ニホンザル	被害額	2,471	2,469	2,363	3,475	2,394	1,352
	捕獲数	50	46	39	47	58	31
ツキノワグマ	被害額	0	784	465	408	225	231
	捕獲数	0	0	0	0	0	0
イノシシ	被害額	1,162	1,008	1,250	1,434	1,526	1,164
	捕獲数	139	138	148	138	43	53
その他 獣類	被害額	6,289	5,996	6,998	5,768	5,875	5,947
	捕獲数	367	368	399	349	362	336
鳥 類	被害額	5,509	8,367	6,959	6,598	6,195	6,106
	捕獲数	617	555	401	554	344	364
合計被害額		62,156	59,088	54,063	59,804	58,153	50,962

\*単位以下四捨五入の関係で縦集計は必ずしも一致しない。

##### (2) 野生鳥獣総合管理対策事業補助金 (単位：円)

事業種別		令和4年度実績		令和5年度計画(要望額)	
		事業量	補助金額	事業量	補助金額
緊急捕獲活動支援 (農水省交付金)	有害捕獲	1,944頭	14,106,000	2,945頭	21,245,000
広域捕獲支援 (林野庁交付金)	広域捕獲支援	3市町	601,900	3市町	925,000
県費単独	大型獣緊急捕獲・放獣 (ツキノワグマ放獣)	13頭	500,500	17頭	654,500
	シカ等個体数調整・捕獲	355頭	884,000	486頭	1,202,500
	集落等捕獲隊活動支援	1市	114,000	1市	150,000
	鳥獣被害対策実施隊員支援	6市町村	386,750	6市町村	432,550
	残渣処理作設経費	—	—	2箇所	100,000
	銃猟者確保・育成支援	—	—	—	—
小計			1,885,250		2,539,550
合計			16,593,150		24,709,550

## 5 林業生産状況等

令和3年の林業生産額は656,429千円で前年比132%となった。

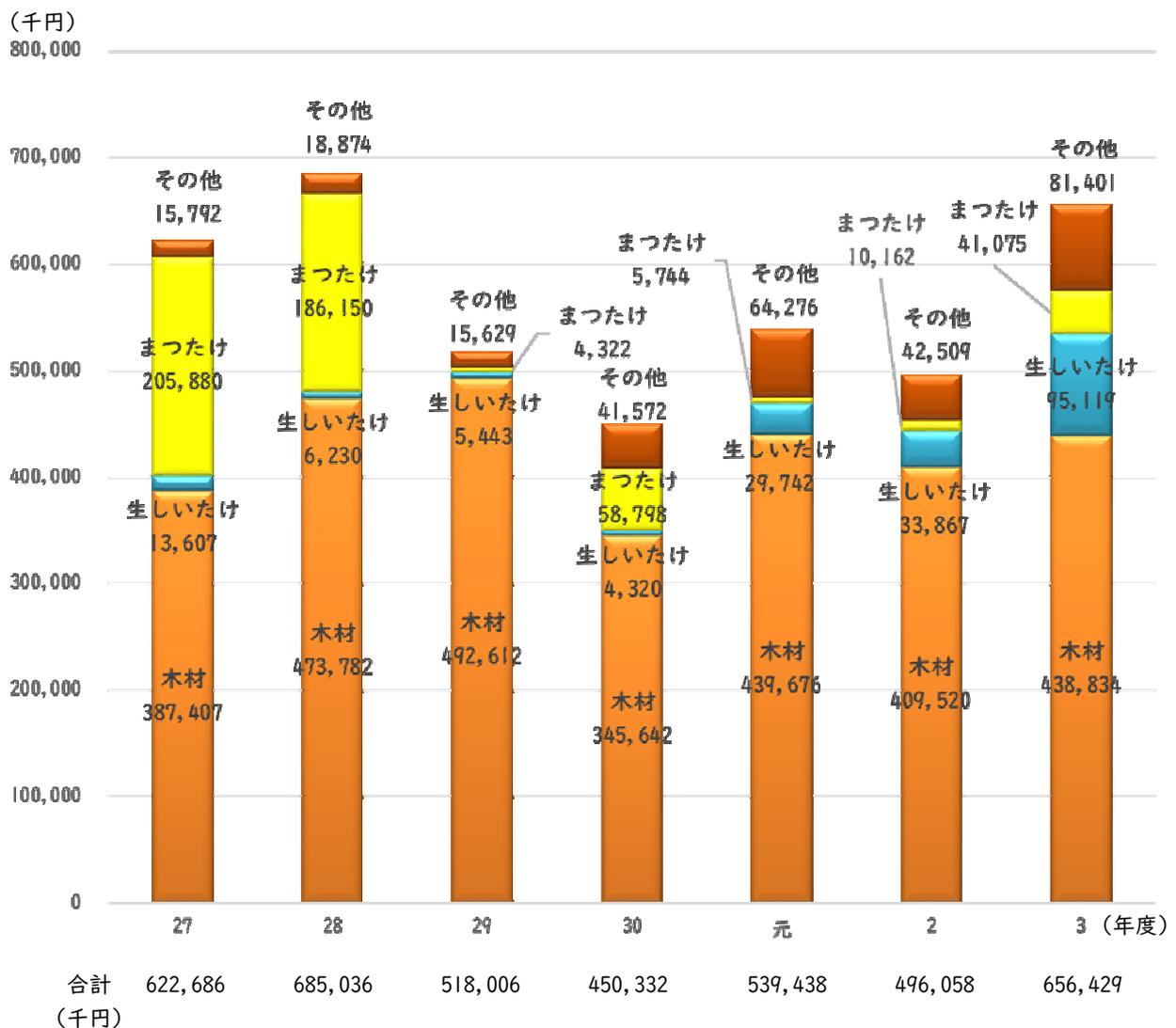
平成2年の木材生産額は、合板需要減などにより減少したが、令和3年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、外国産材の品薄、価格高騰により国産材需要が急伸した。

木材生産額は、単価の上昇により増加したが、供給量が伸びず需要に応えきれていない。

まつたけは、令和3年は回復傾向が見られた。気候条件が整えば豊作が期待できることから、各地でまつたけ山の手入れが盛んに行われている。

(マツタケ収穫量の推移 H29:0.1t、H30:2.9t、R元:0.2t、R2:0.2t、R3:1.0t)

### 林業生産額の推移



## 6 森林税活用事業

第3期森林税（平成30年度から令和4年度）では、これまでの里山整備に加え、教育や観光等、多面的な森林の利活用に用途を広げ、地域や様々な分野の方々による主体的な里山の整備・利用を推進した。

### 令和4年度森林税活用事業実績

区分	令和4年度実施内容	箇所・面積・延長等	補助金額等
1	「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山等の整備		34,527千円
防災・減災のための里山等の整備事業	【みんなで支える里山整備事業】 「防災・減災」の観点から、優先的に整備が必要な未整備の里山の間伐に要する経費を補助	諏訪市、茅野市、富士見 22ha	11,768千円
	【地すべり防止施設管理サポート事業】 「防災・減災」の観点から、里山の地すべり防止施設の巡視や点検等を市町村に委託	岡谷市	99千円
	【ライフライン等保全対策事業】 ライフライン(電線等)に隣接する森林において、倒木の恐れがある危険木伐採に要する経費を補助	茅野市、富士見町、原村	1,500千円
県民協働による里山の整備・利用事業	【みんなで支える里山整備事業】 集落周辺の電線や建物に隣接する立木の特殊伐採や搬出間伐等に要する経費を補助	諏訪市、茅野市 32ha	19,241千円
	【里山整備利用地域活動推進事業】 森林整備体験、道標案内看板の設置、自然観察会、きのこ菌打ち体験等に要する経費を補助	茅野市 3箇所	1,075千円
	【里山資源利活用推進事業】 里山整備利用地域において、資機材の購入、林内歩道の整備等に要する経費を補助	茅野市 1箇所	544千円
地域で進める里山集約化事業	【地域で進める里山集約化事業】 間伐事業実施地の森林所有者の合意形成や、所有者の境界を明確化する取組に要する経費を補助	富士見町 1地区	300千円
2	自立的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用		3,646千円
地消地産による木の香る暮らしづくり事業	【「子どもの居場所」木質空間整備事業】 子どもが行う木工体験活動や「子どもの居場所」に木のおもちゃ等の設置に要する経費を補助	茅野市 2箇所 下諏訪町 1箇所 富士見町 1箇所2事業	3,646千円
3	多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用		1,815千円
森林の教育利用の推進事業	【学校林等利活用促進事業】 学校林の活用を推進するため、放置され利用困難になっている学校林の整備に要する経費を補助	茅野市(永明小・北山小) 2箇所	412千円
観光地における景観形成のための森林等の整備事業	【観光地等魅力向上森林景観整備事業】 観光地の魅力向上を図るため、地域の景観に合致した森林整備等に要する経費を補助	岡谷市(岡谷湖畔公園) 茅野市 (湯みち街道・御射鹿池) 2箇所	1,403千円
4	市町村に対する財政調整的視点での支援		6,966千円
森林づくり推進支援金	【森林づくり推進支援金】 森林に関する様々な課題解決のための市町村独自の取組を支援	岡谷市 諏訪市 茅野市 下諏訪町 富士見町 原村	1,307千円 1,412千円 1,897千円 777千円 1,016千円 557千円
合計			46,954千円